

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2014-1-399
研究課題名	持続腎代替療法による窒素喪失量の後ろ向き検討
研究期間	西暦 2014年 9月（倫理委員会承認後）～2019年 8月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input checked="" type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（尿）
上記材料の採取期間	西暦2010年 1月～ 2012年 12月
意義、目的	集中治療患者における適切な栄養管理は転帰に大きな影響を与える。持続腎代替療法（continuous renal replacement therapy, 以下 CRRT）下の窒素バランス測定は重症病態を管理する上で重要と思われるがその方法についての言及はほとんどなく病態が不明である。本研究は、CRRT 施行例における窒素投与を適切に行うために、透析濾過液からの窒素喪失量を、血中尿素窒素(BUN)を用いて臨床的に評価することが可能であるかを検討することを目的とした。
方法	2010年1月から2012年12月までに東北大学病院高度救命救急センターにて1週間以上持続腎代替療法を行った19例を対象に、CRRT 施行中の毎週水曜日に尿量、透析濾過液量と、それらの窒素濃度計測を行った。窒素排泄量は尿中および透析濾過液中の窒素量をそれぞれ測定した。尿中排泄量は24時間蓄尿を行い尿中窒素濃度から算出した。透析濾過液中の喪失量は8時間ごとに20ml ずつ透析濾過液を採取し24時間分を混和したものから濃度を測定し透析濾過液総量から算出した。尿素窒素を滴定法により測定した。同時に行われた血液検査から血中窒素濃度（BUN）を測定した。試料は数値データとして研究終了後も保存し検査内容を学術目的に利用する。
問い合わせ・苦情等の窓口	宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院 高度救命救急センター 助教 佐藤 武揚 電話：022-717-7489